

報告事項(4):知立市公共交通に関する市民アンケート調査の結果について

1. 令和7年度の交通計画策定に係る調査等の主なスケジュール

令和7年8月18日～9月2日	市民アンケート調査
令和7年10月17日・19日	ミニバス乗降調査
令和7年10月31日までに回答	バス利用者アンケート調査
令和7年12月～令和8年1月	交通事業者等ヒアリング
令和8年1月24日	住民懇談会

2. 総合公共交通会議内での協議等について

実施内容	総合公共交通会議内での協議	結果報告時期
1. 市民アンケート調査	第2回総合公共交通会議にて協議済み	第3回総合公共交通会議
2. ミニバス乗降調査及び バス利用者アンケート調査	第2回総合公共交通会議にて協議済み	第4回総合公共交通会議 (3月頃)
3. 交通事業者ヒアリング	第3回総合公共交通会議の協議事項として 諮ります。	第4回総合公共交通会議 (3月頃)
4. 住民懇談会		

3. 知立市公共交通に関する市民アンケート調査の概要

①対 象 者:令和7年8月1日現在で市内在住の15歳以上90歳未満の方 2,000人(無作為抽出)

②調査方法:【15歳以上70歳未満の方】 案内ハガキに記載した2次元コードを読み込んだ先のアンケートページにて回答(1,500人)
 【70歳以上90歳未満の方】 紙のアンケート用紙を送付し、回答を記載の上、返信用封筒にて返送(500人)

③調査期間 令和7年8月18日(月曜日)～9月2日(火曜日)

※8月20日からは広報・LINEの2次元コードからも回答できるオンラインアンケートも実施

4. 知立市公共交通に関する市民アンケート調査結果

※別紙参照

【 余 白 】

市民アンケート調査結果（抜粋）

1. 調査の目的

2026 年度に最終年度を迎える本計画の評価を行い、次期計画を策定するため、皆さんの現在の交通行動実態や、今後の公共交通の確保・維持のあり方などを把握することを目的として、市民を対象にアンケートを実施した。

2. 調査の概要

項 目	内 容
調査対象	15 歳以上（高校生以上）の市内居住者 2,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	令和 7 年 8 月 19 日（火）～ 9 月 2 日（火）
回収票数	627 票（回収率：31.4%）

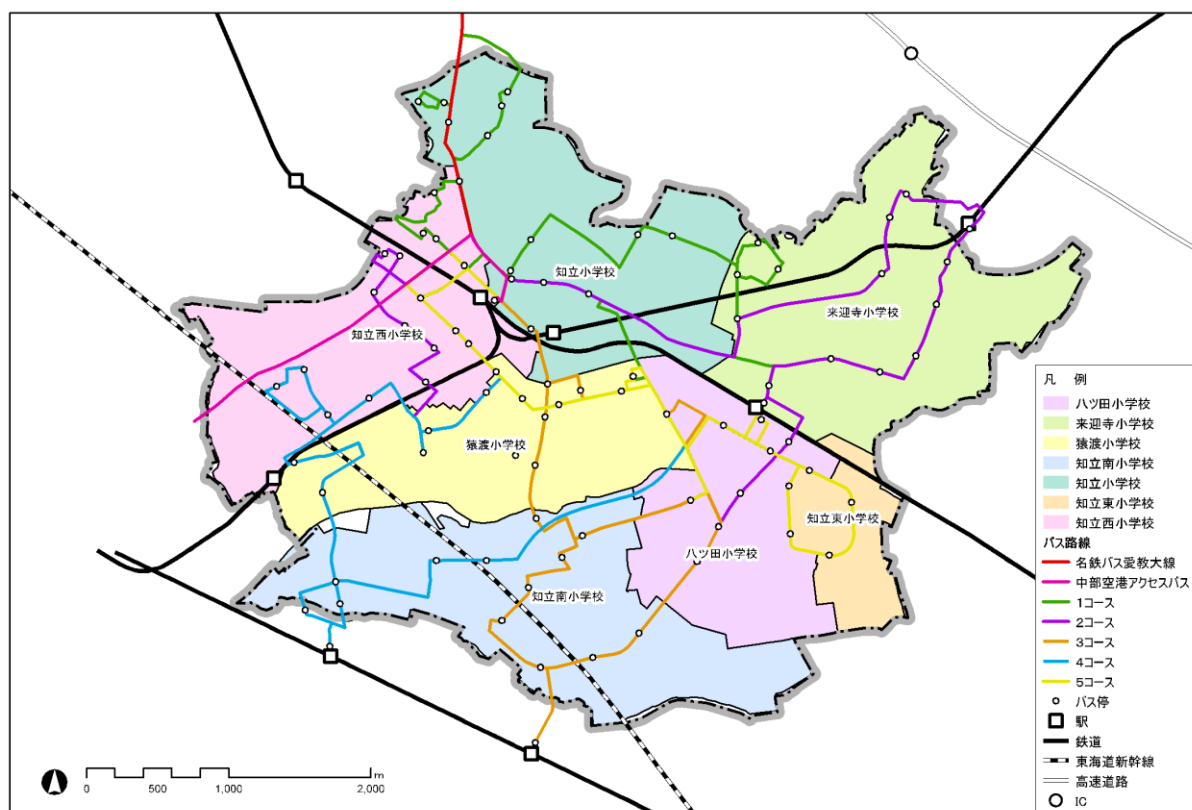
3. 集計にあたっての設定事項

■数値の取扱について

比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下２位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100％を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約 70％”などと、小数点以下１位を四捨五入した整数値で表記する。

■集計単位について

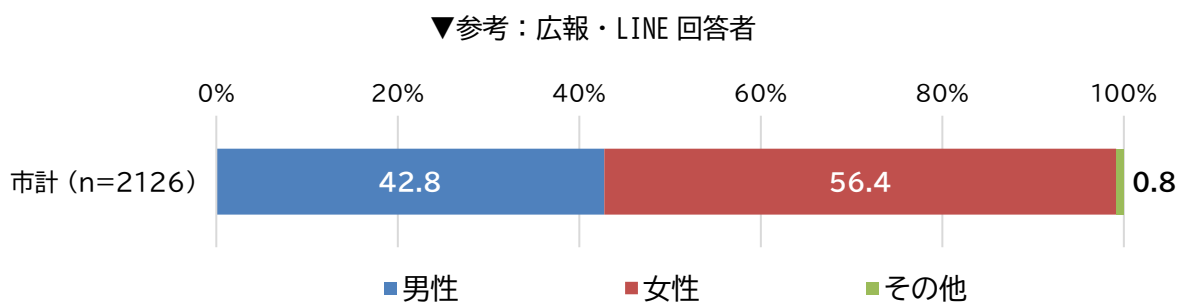
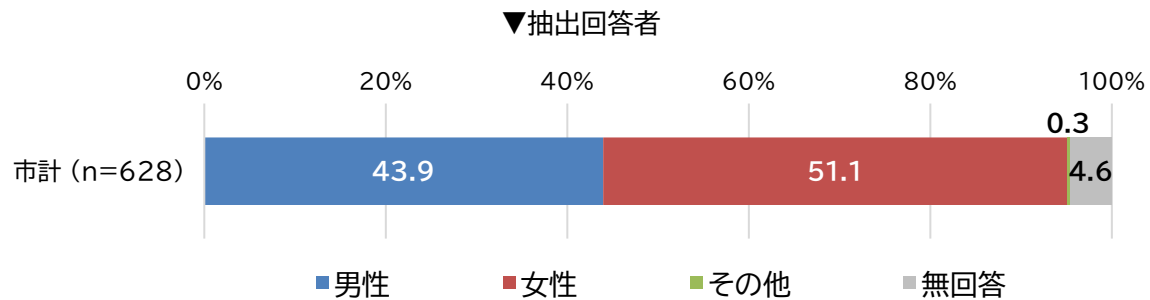
年齢や地域の違いによる傾向やニーズを把握・分析するために、一部の設問について年齢階層別の集計または小学校区別の集計を行う。



4. 集計結果

①回答者の性別

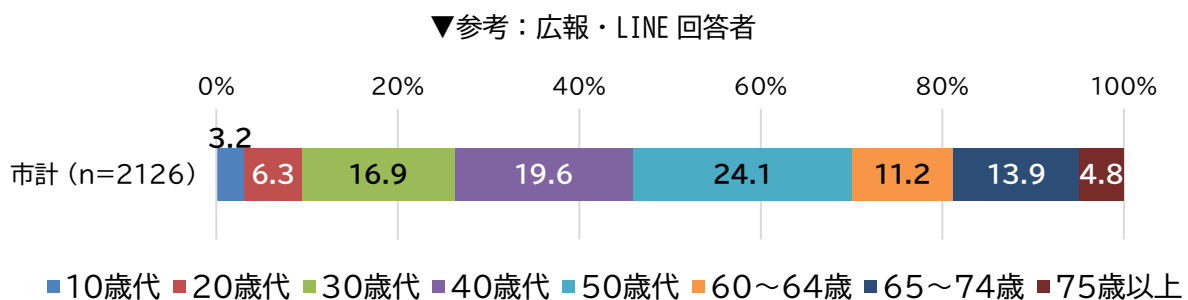
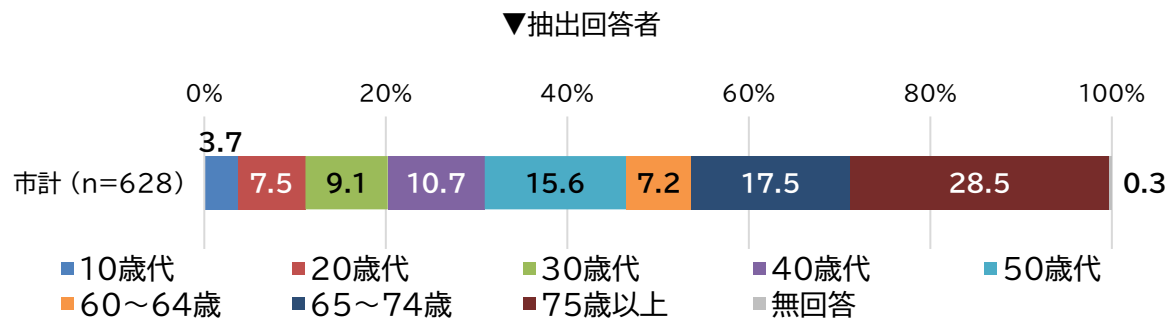
■「男性」が約 44%、「女性」が約 51%となっている。



②回答者の年齢

■「75 歳以上」の割合が約 29%で最も高く、次いで「65～74 歳」「50 歳代」の順となっている。

■回答者全体でみると、65 歳以上が 46%を占めている。

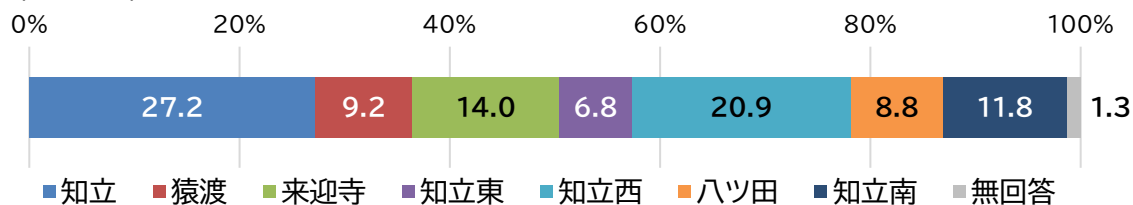


③回答者の居住小学校区

■「知立小学校区」の割合が約 27%で最も高く、次いで「知立西小学校区」、「来迎寺小学校区」の順となっている。

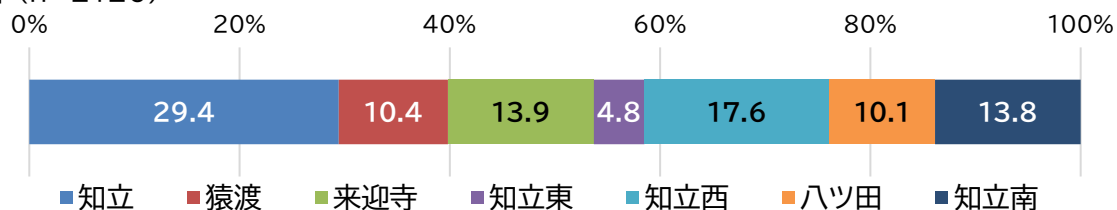
▼抽出回答者

市計 (n=628)



▼参考：広報・LINE 回答者

市計 (n=2126)

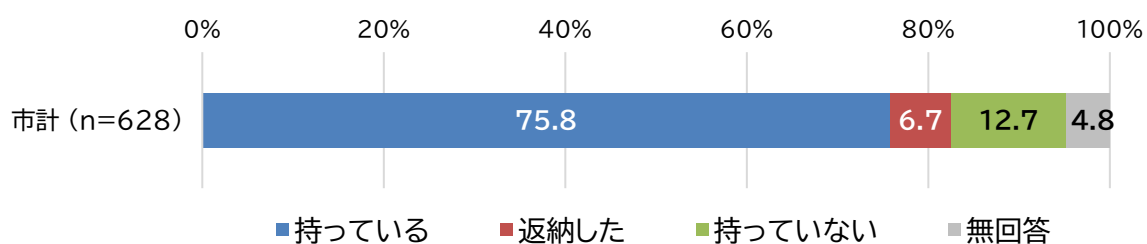


④運転免許証の保有状況

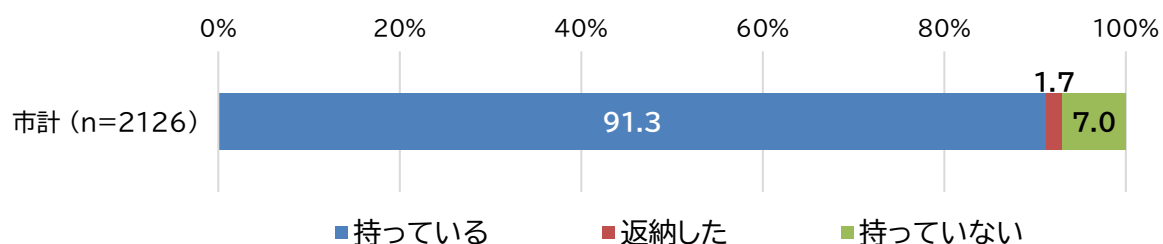
■運転免許証の保有率は約 76%となっている。

■運転免許証を返納した人は約 7%、免許証を持っていない人は約 13%となっている。

▼抽出回答者



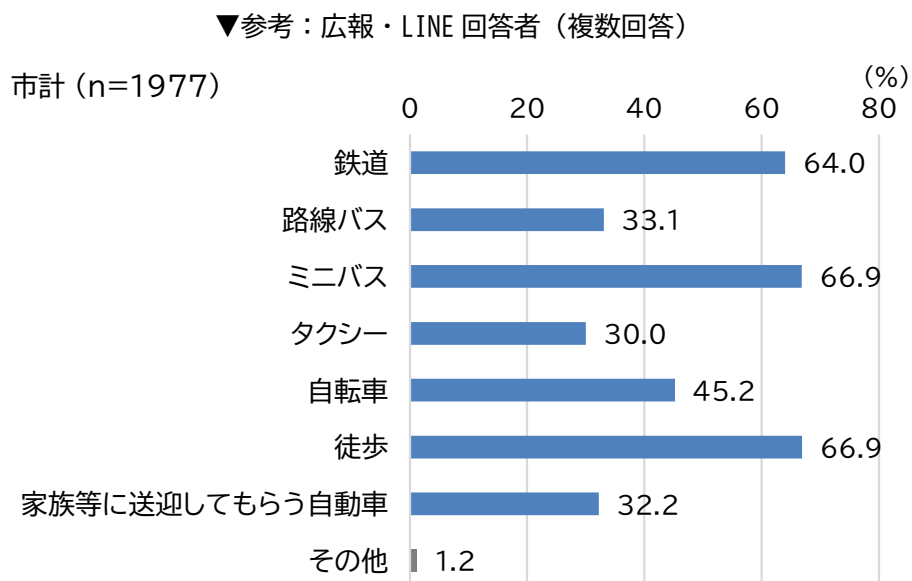
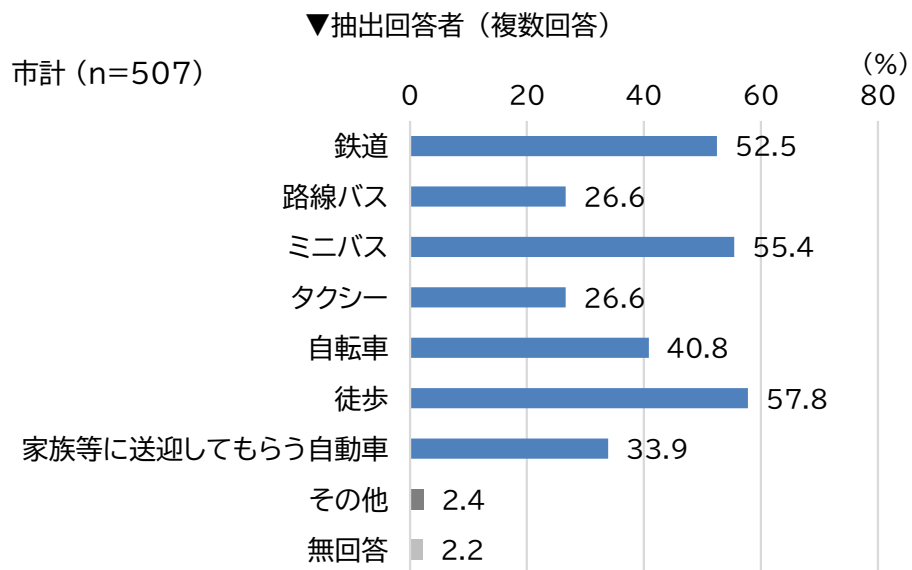
▼参考：広報・LINE 回答者



⑤免許返納後に利用したい移動手段（または、免許返納後に利用している移動手段）

※免許証を保有している、または返納した人のみ

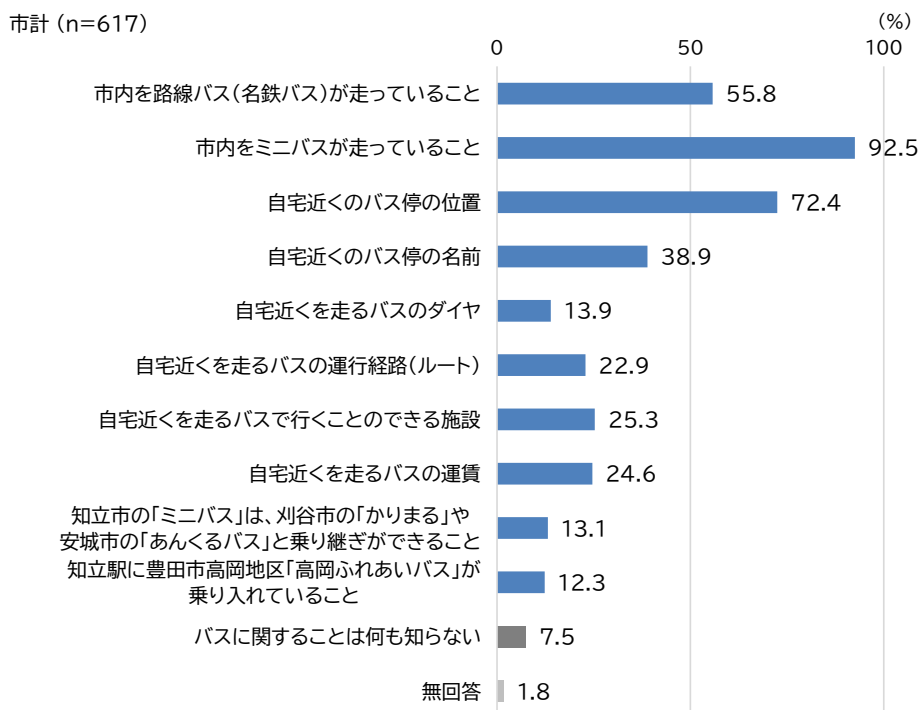
■「徒歩」の割合が約58%で最も高くなっており、次いで「ミニバス」「鉄道」の順となっている。



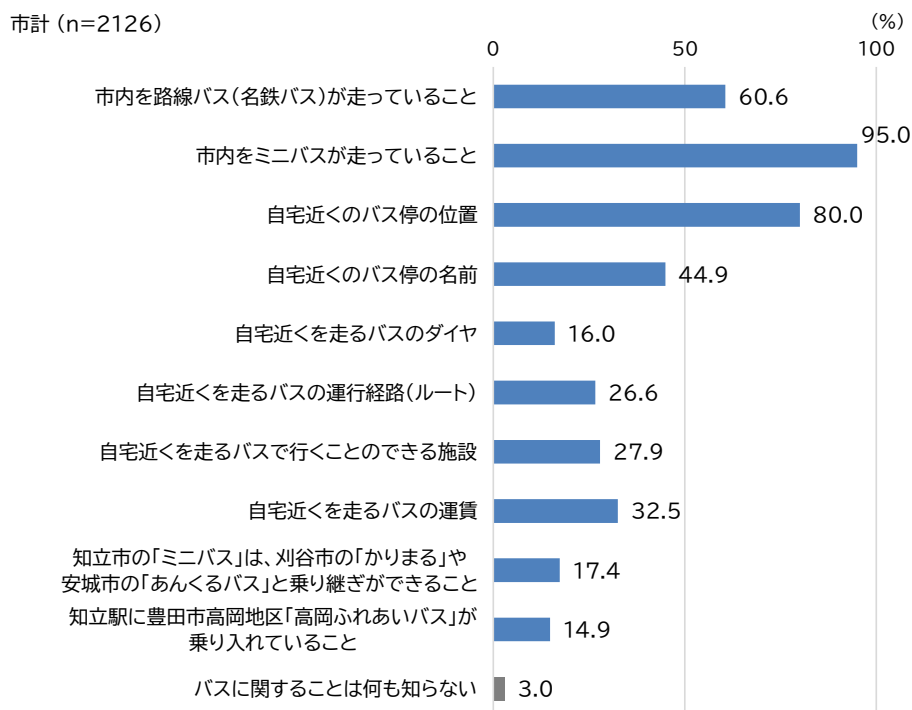
⑥バスについて知っていること

- 「市内をミニバスが走っていること」の認知度は約 93%で最も高く、次いで「自宅近くのバス停の位置」「市内を路線バス(名鉄バス)が走っていること」の順となっている。
- 「自宅近くを走るバスで行くことのできる施設」の認知度は約 25%となっている。

▼抽出回答者（複数回答）



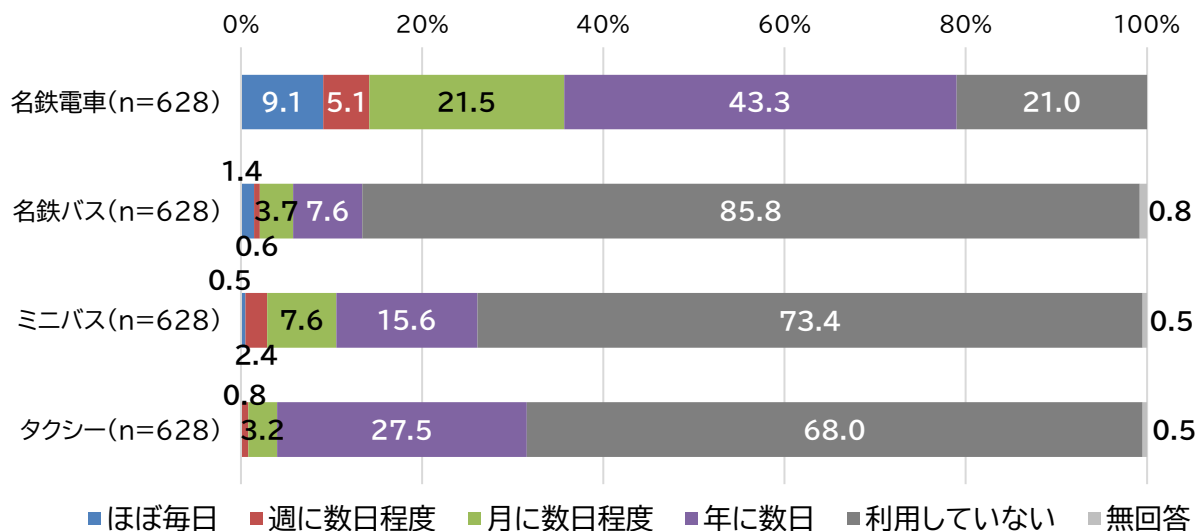
▼参考：広報・LINE 回答者（複数回答）



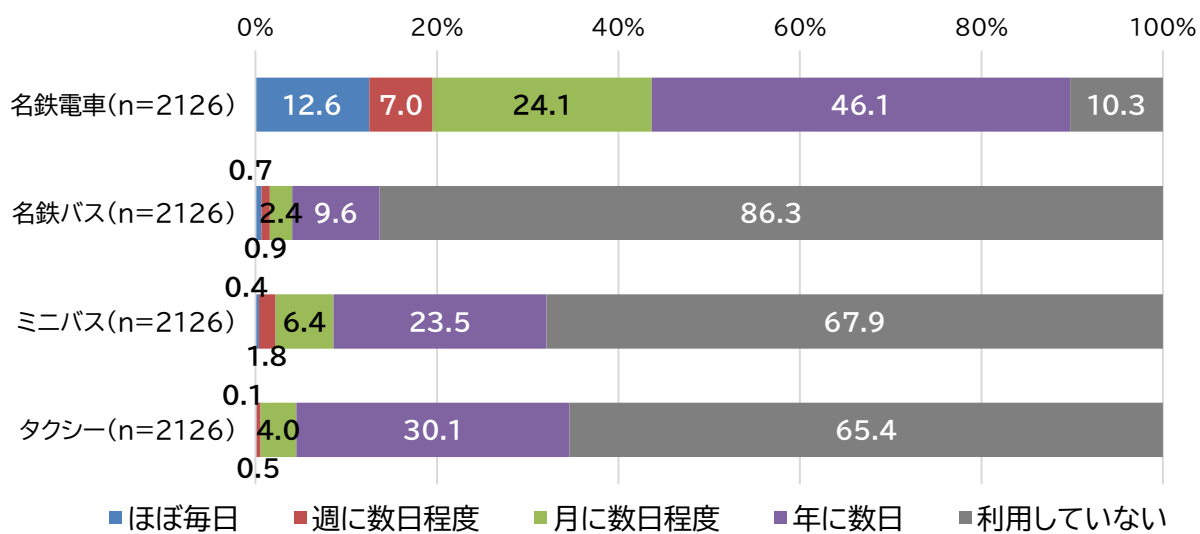
⑦公共交通の利用頻度（1年間での利用頻度）

- 1年間で名鉄電車を利用している人の割合は79%となっている。
名鉄バスでは約13%、ミニバスでは約26%、タクシーでは約32%となっている。
- いずれの公共交通の利用者も、利用頻度は「年に数日」の割合が最も高い。

▼抽出回答者



▼参考：広報・LINE 回答者



⑧各公共交通の満足度（利用している人のみ）

※「満足」＋「やや満足」の割合を“満足度”、「不満」＋「やや不満」の割合を“不満割合”とする。

■いずれの公共交通も満足度が不満割合を上回っている。

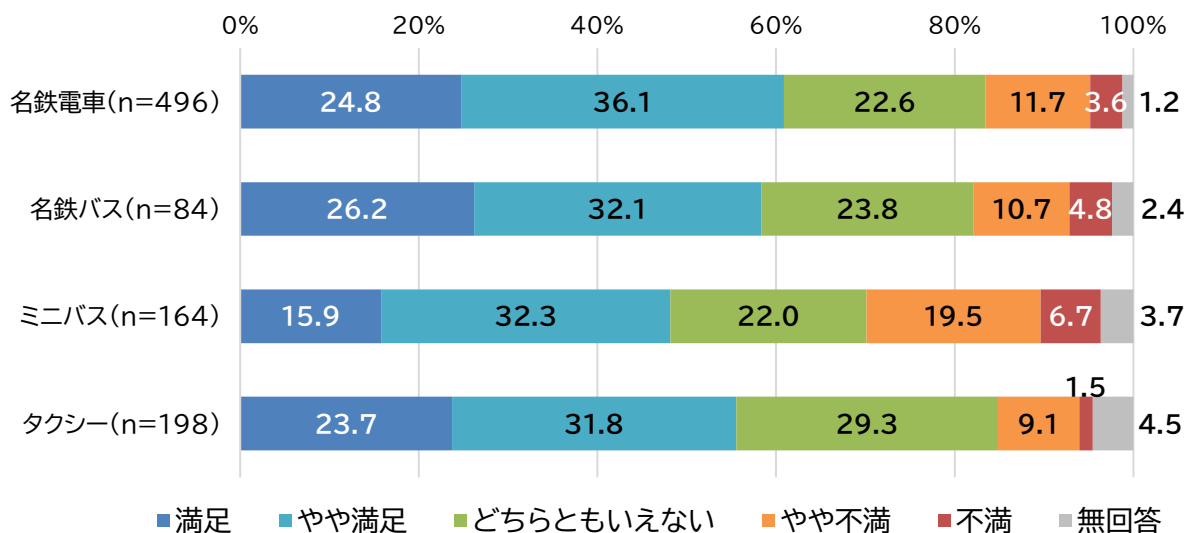
名鉄電車の満足度は約 61%、不満割合は約 15%となっている。

名鉄バスの満足度は約 58%、不満割合は約 16%となっている。

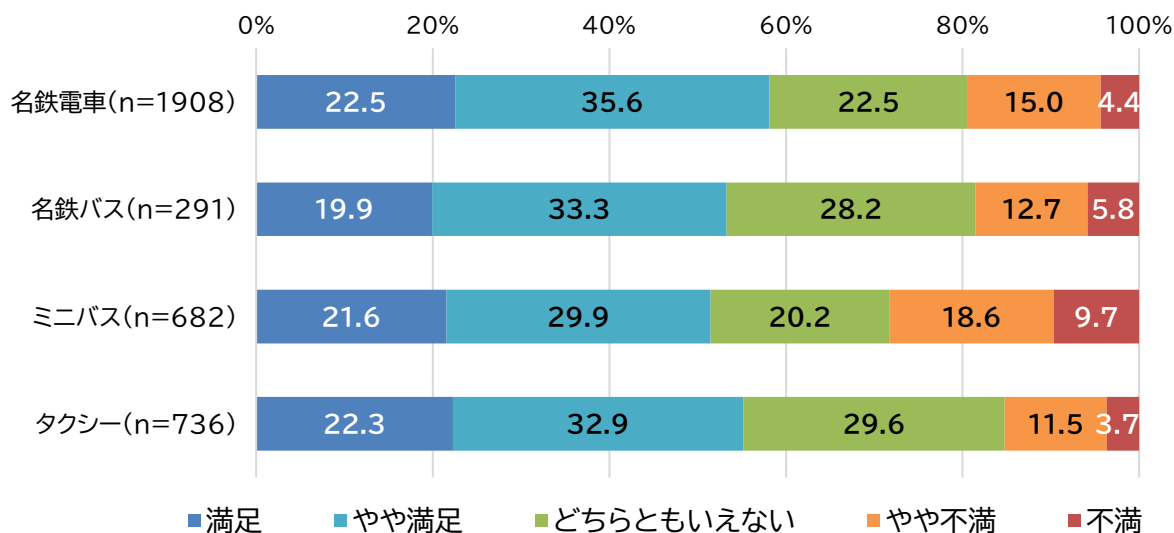
ミニバスの満足度は約 48%、不満割合は約 26%となっている。

タクシーの満足度は約 56%、不満割合は約 11%となっている。

▼抽出回答者



▼参考：広報・LINE 回答者



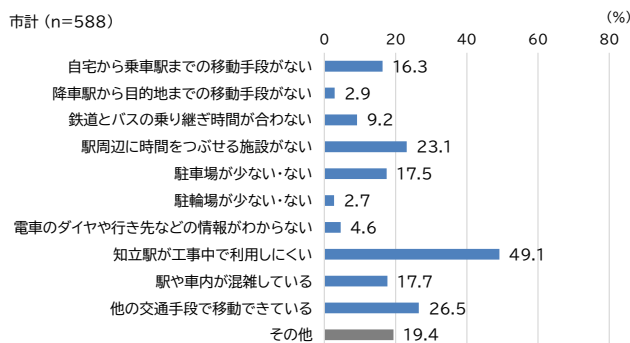
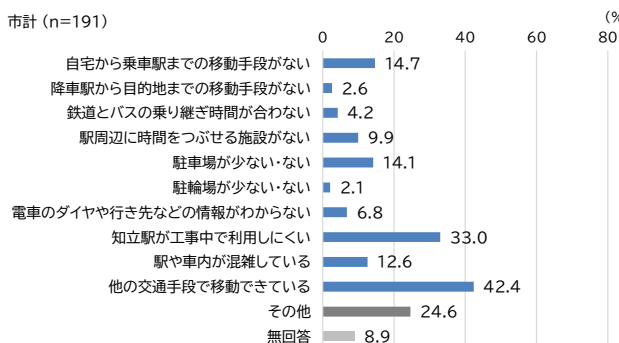
⑨各公共交通の不満理由・利用していない理由（不満利用者・非利用者のみ）

■名鉄電車では「知立駅が工事中で利用しにくい」が最も高い割合（33%）となっている。
 名鉄バスでは「自宅から最寄りバス停まで遠い」が最も高い割合（約17%）となっている。
 ミニバスでは「運行本数が少ない」が最も高い割合（約21%）となっている。
 タクシーでは「運賃がいくらになるかわからない」が最も高い割合（約28%）となっている。

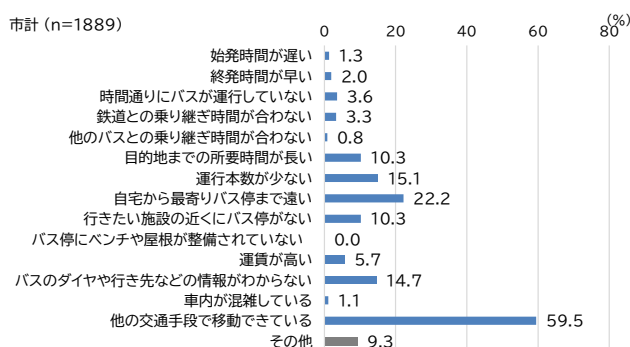
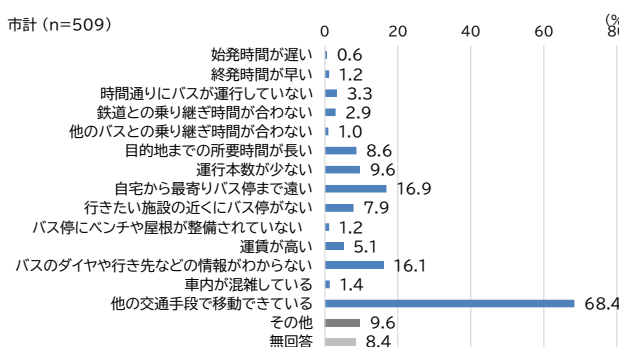
▼抽出回答者（複数回答）

▼参考：広報・LINE 回答者（複数回答）

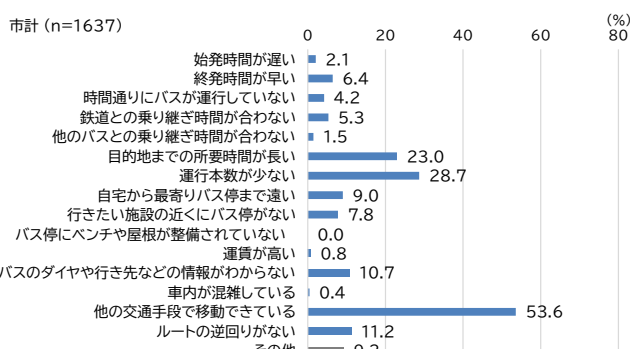
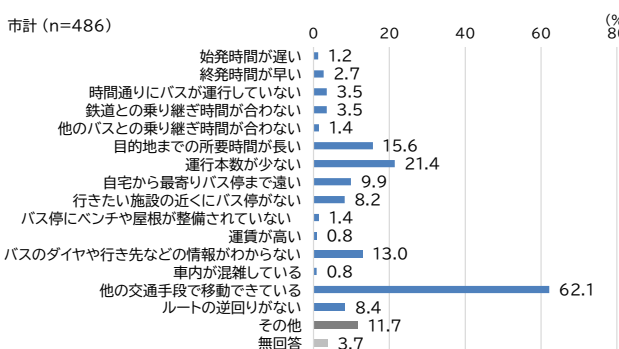
【名鉄電車】



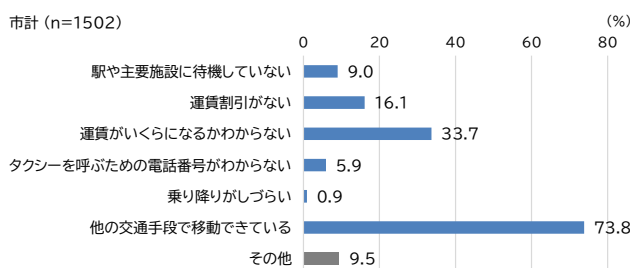
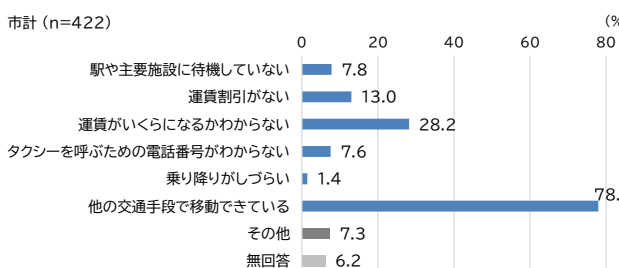
【名鉄バス】



【ミニバス】



【タクシー】

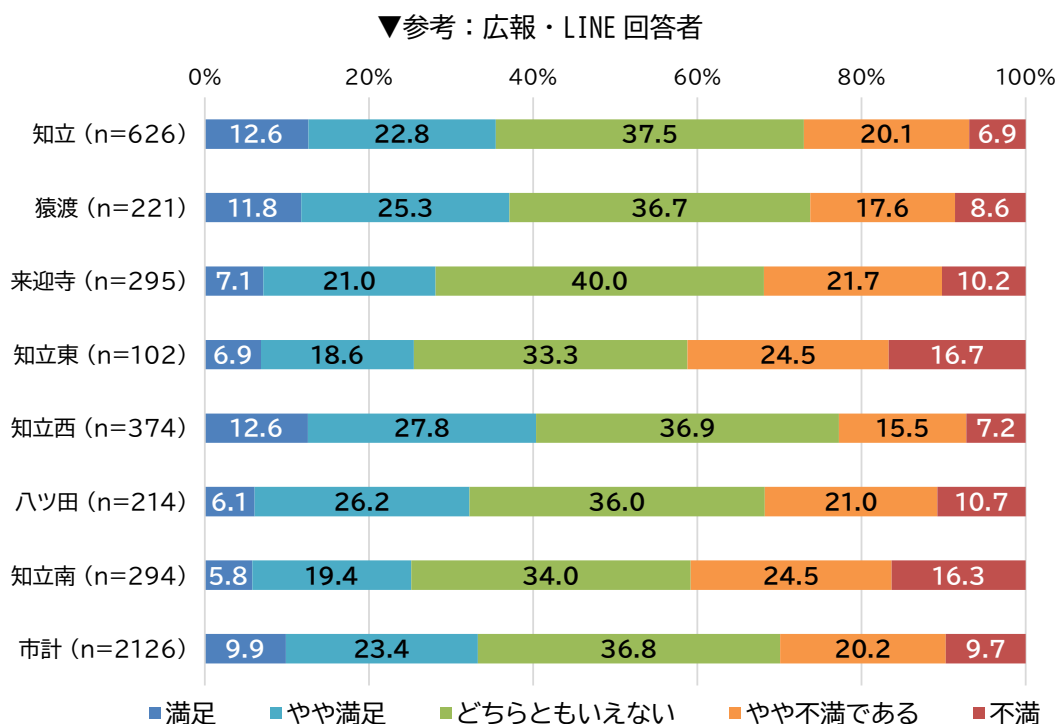
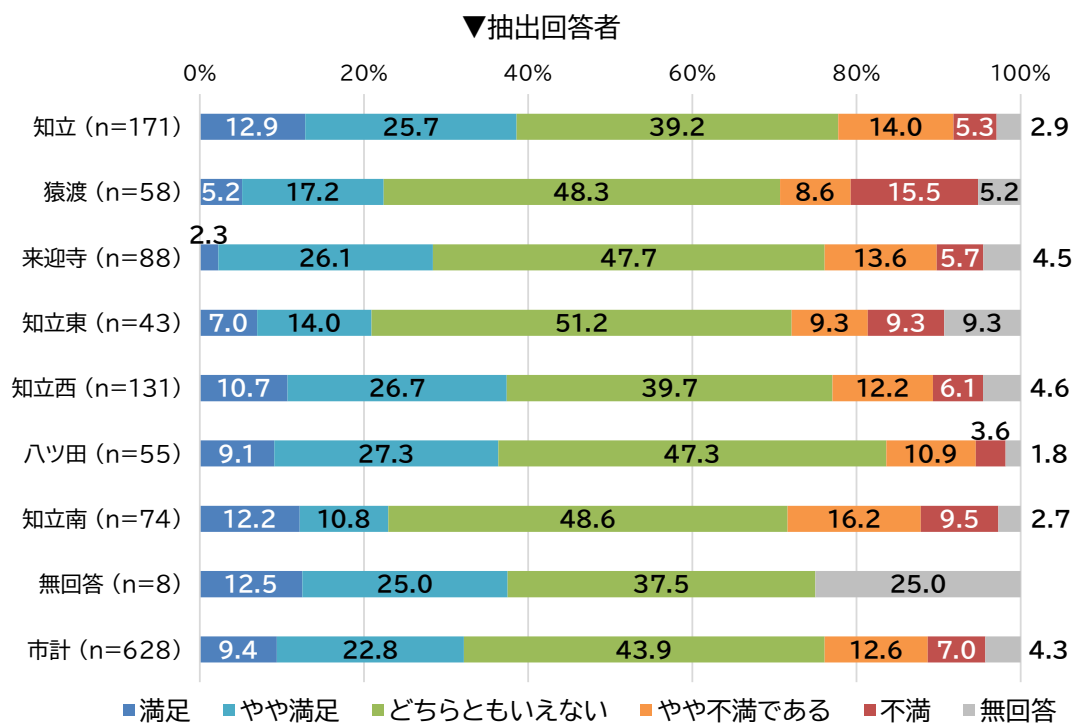


⑩市内の公共交通の総合満足度

※「満足」＋「やや満足」の割合を“満足度”、「不満」＋「やや不満」の割合を“不満割合”とする。

■満足度は約 32%で、不満割合の約 20%を上回っている。

■地域別にみると、猿渡・知立南小学校区において、満足度が不満割合を下回っている。



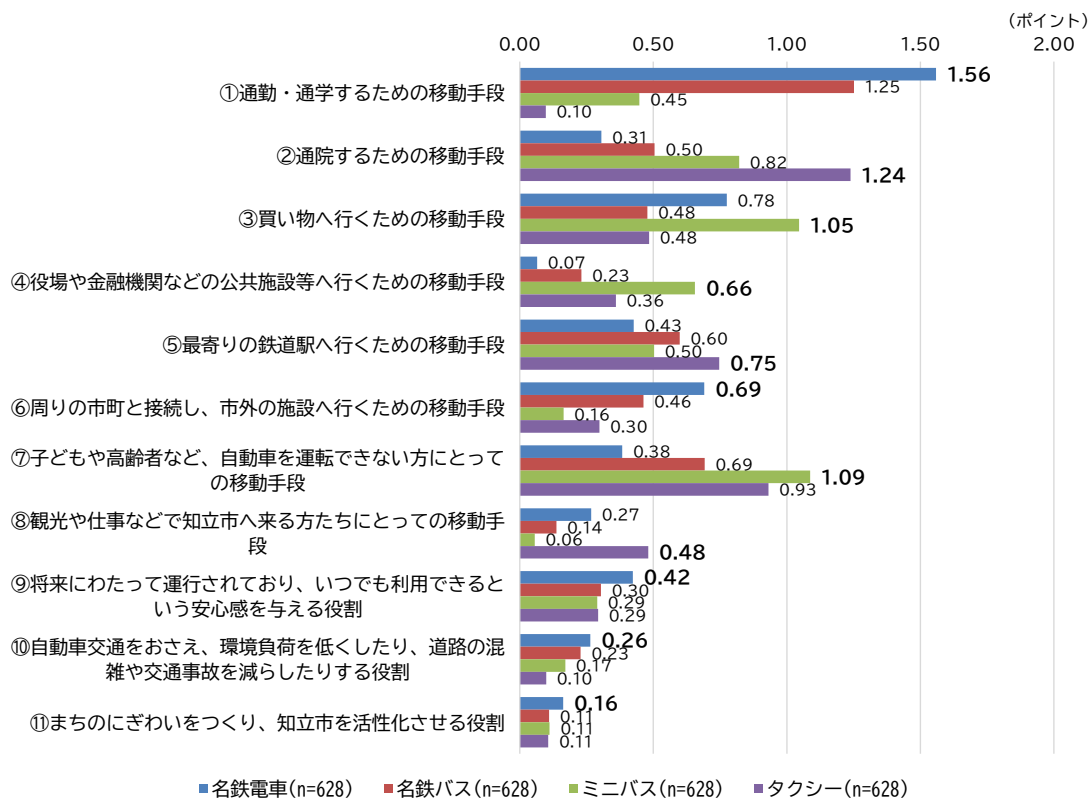
⑪公共交通に期待する役割

※1位選択項目に3点、2位は2点、3位は1点を加え、合計点を回答者数で除したポイント

■名鉄電車や名鉄バスでは「①通勤・通学」といった役割が求められている。

ミニバスやタクシーでは「②通院」や「③買い物」、「⑦自動車を運転できない方にとっての移動手段」といった役割が求められている。

▼抽出回答者



▼参考：広報・LINE 回答者

